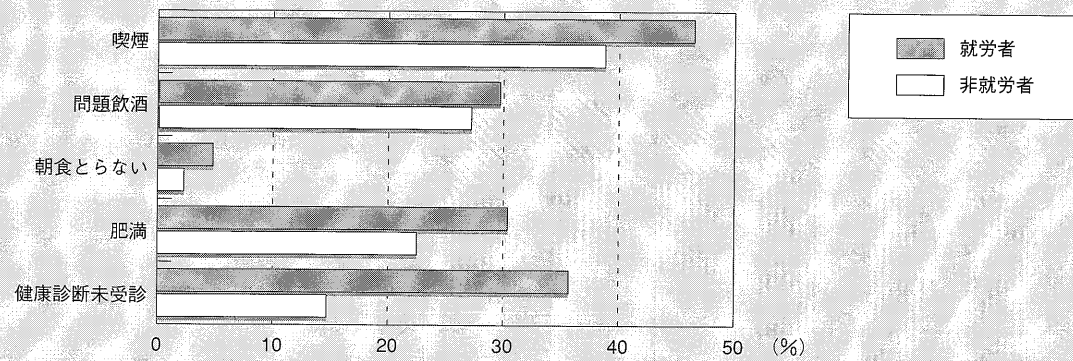


図表1-2-1 望ましくない生活習慣保有率（61歳以上の男性：就労・非就労別）

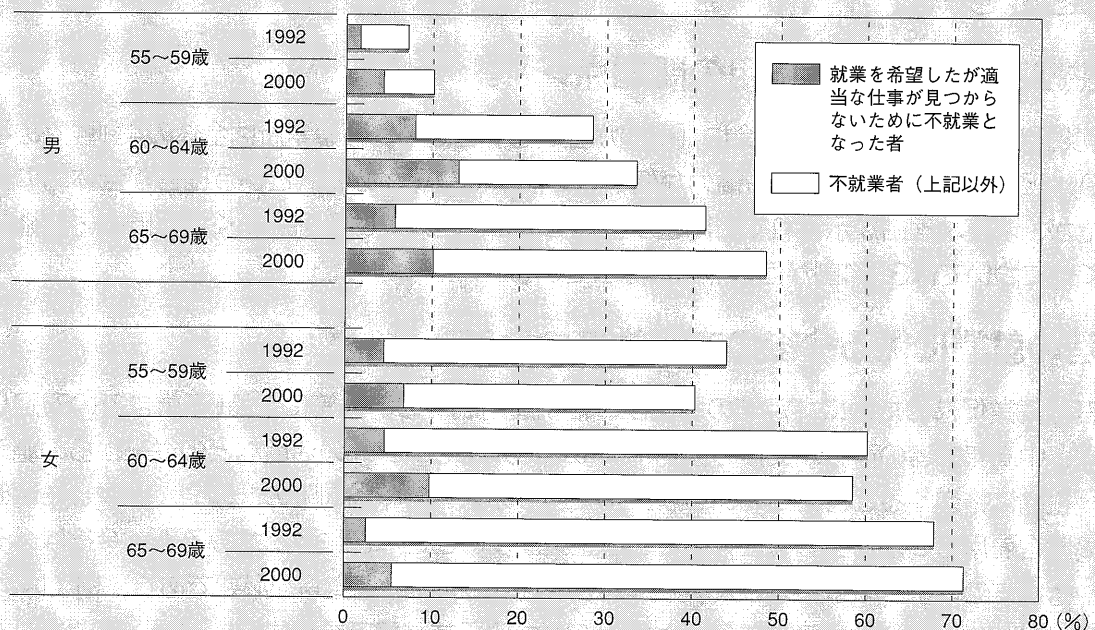


資料：柴田博「中高年齢者の職業からの引退過程と健康、経済との関連に関する研究」（1999年・2001年調査）より抜粋  
 (注) 1. 「問題飲酒」：日本酒換算で1日3合以上  
 2. 「肥満」：BMI (Body Mass Index) が25以上

### <高齢者の労働力率の変化、就業希望が満たされない高齢者の増加>

- 我が国においては、高齢になっても働きたいという意欲が高いが、最近では、高齢者の労働力率の低下がみられる。その要因についてはさまざまな指摘があるが、特に最近においては、経済情勢の悪化により雇用機会が限られていることも一因になっているのではないかと考えられ、就業を希望していたが「適当な仕事が見つからなかった」ため就業できなかった者の割合が増えてきている（図表1-2-5）。

図表1-2-5 不就業者の割合の推移



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「高齢者就業実態調査」から政策統括官付政策評価官室作成

- また、失業の理由は、高齢層になるほど「求人年齢と自分の年齢とがあわない」という理由が多くなっており、企業側の採用に係る年齢制限が高齢者の就業への制約となっていることがわかる（図表1-2-7）。